

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務			作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱		
工期	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日			作成者	鈴木 悠平		
作業名称	エラストイト撤去工		作業手順書	作成年月日	令和3年4月20日		
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	連絡車			改正年月日			
				現場責任者	自筆サイン		
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	片手ノコギリ、カッターナイフ、土嚢袋、脚立			協力会社	会社名		
				協力会社責任者	自筆サイン		
保護具	ヘルメット、手袋(刃物作業時は耐切削用)、安全带(ロリップ)、親綱			作業順序			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す)	①自動車運転免許証(普通)、					1	現地確認
						2	準備作業
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	①作業責任者 1人、②作業員					3	親綱設置
	合計 3名					4	エラス撤去
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		周知会実施日			5	充填作業
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)					6	後片付け
			7				
			8				

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい 関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい 関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度 職長が確認
					△×、×△	4:かなり大きい 工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい 十分に訓練をした対策が必要	

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定(防止対策)
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認							
準備作業(全員)	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認・入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
親綱設置(全員)	作業箇所確認し、壁高欄の投物防止フェンスの支柱にロープを固定し、法面へ2本垂らす。	ロープの長さ、緩み確認	ロープが緩み転落する。	△	×	△×	4		二人でロープのゆるみを確認する。
エラス撤去作業(作業員、責任者)	脚立を法面設置する。	脚立運搬注意	脚立運搬時、人に接触する	△	○	△○	2		周囲を確認し声掛けをおこない設置する。
	安全帯を装着しロープと繋ぎ、脚立を登る。上部のロープと脚立を結び固定する。	安全帯の確認	安全帯が正しく着用できておらず、転落する。	△	×	△×	4		腰骨の位置でしっかりと着用する。
	カッター等を使用しエラスを撤去する。	安全帯着用	身を乗り出し転落する。	△	×	△×	4		安全帯を着用し無理な体制で作業しない。
		落下物注意	撤去したエラスが落下し一般車に当たる。	△	×	△×	4		撤去後は土嚢袋等に入れ飛散しないようする。
充填作業(作業員、責任者)	テールアルメの隙間に発砲ウレタンを詰め込みコーキングを充填する。	落下物注意	作業中に道具が落下し、一般車に当たる	△	×	△×	4		道具に落下対策を行い、作業ヤードを整理整頓する。
	脚立のロープを外しゆっくりと降りてくる。	周辺設備確認	脚立が転倒する	△	×	△×	4		脚立下部を責任者が両手で支える。
	脚立、ロープを撤去する。	脚立運搬注意	脚立運搬時、人に接触する	△	×	△×	4		周囲を確認し声掛けをおこない設置する。
後片付け(全員)	車両洗車 道具整備・後片付け	道具の損傷有無確認							工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事